



2014年 年頭所感

あけましておめでとうございます。皆様のおかげで、無事にめぐみ在宅クリニック開設以来8年目の正月を迎えることができました。3次救急的な関わりを信条とする私にとって、年末年始は特に新規の相談を大切にしております。今年も12月27日に3人、28日に1人の新規訪問があり、年末年始の休みの間に9人の在宅看取りがありました。それぞれ訪問看護の皆さん、ケアマネはじめ介護の皆さんの協力があることで、改めて感謝です。

さて、今年一番の取り組み課題は、若手医師の教育です。嬉しいことに、この春に常勤1人、非常勤4人の若手医師が赴任し、9月からもう1人、常勤医が赴任する予定です。それぞれ志を持ち、緩和ケアを学びにお越し頂きます。年間の在宅看取りが200人近い当院での経験を、特に会話記録とともに学ぶ機会を通して、スピリチュアルケアを含む緩和ケアの教育プログラムを作り、1年後をめどに、クリニック内に緩和ケア教育センターを創設してみたいと思います。そして、緩和を学びたい若手医師に、単に症状緩和だけでなく、スピリチュアルケア(存在と生きる意味を支える援助)を提供できるような医師に育てていきたいです。そして、院内の診療体制の強化を行った上で、看取り対応のできる地域スタッフ養成を意識した研修会を企画します。緩和ケアを学ぶことのできる場は限られています。クリニックの豊富な経験を、地域の各事業所とシェアできることが、クリニックに与えられたミッションと考えています。さらには、市村先生を中心にディグニティセラピーの実践とセラピストの養成、太田先生を中心に地域栄養サポートチームの展開、加治さん・山本さんを中心にグリーフケアの活動を展開していく予定です。そして一般市民向けの緩和ケア啓発を目的とした活動も予定します。3月に瀬谷区公会堂、6月には大和・生と死を考える会の講演会で一般向けの講演とシンポジウムを企画します。そして、できれば、いのちの授業の講師を今年こそ養成し、計画性を持っていのちの授業を学校に伺えるようなシステムを作りたいと思っています。さらには、6冊目となる本の執筆に取りかかりたいと思っています。テーマは、“援助をわかりやすい言葉にする”です。日に日に弱っていく患者さんと誠実に関わる方策を、暖かい人間性や寄り添う心という言葉ではなく、具体的でわかりやすい言葉にする力を、多くの人が身につけることができるような企画です。そして、今年、講演で内容の中に、援助の具体的な実践として、“問いかけ”にこだわってみたいと思います。傾聴の技法として、反復と沈黙は、ある程度訓練すれば、できるかもしれません。しかし、問いかけの技法は、とても奥が深く、なかなか上手に伝えることができていませんでした。最近になり、映画「パイレーツオブカリビアン・生命の泉」のあるシーンを通して、何を問いかけると援助として有効になるのかのヒントを得ました。その意識を持つと、何気なく看取りの現場で行ってきた関わり方の中で、特に“問いかけ”を、他の人に紹介できる可能性が見えてきました。何を問いかけると、相手の支えを強める援助になるのか?を意識すると見えて来るでしょう。このあたりは、改めて紹介していきたいです。今年もよろしくお願いたします。

院長 小澤竹俊

緩和ケア講演会とシンポジウムの企画

2014年3月
10日午後1時30分(午後1時00分開場)、瀬谷区公会堂にて一般市民向けの緩和ケア講演会とシンポジウムを企画することになりました。人生の最期を穏やかに過ごすために、というテーマで、自宅で看取りを経験されたご遺族と、関わった医師、看護師、ケアマネ

などの話を交えて、討論する予定です。参加費は無料で、事前申し込みの必要はありません。お問い合わせの上、ご参加ください。

地方での講演

1月に奈良県と広島県で看護学校と看護協会主催の勉強会に講師として伺いました。地方での講演に行くと感じることは、それぞれの土地で精力的に頑張っている人がいることです。志のある仲間が、それぞれの地域で緩和ケアを必要としている患者さん・家族の支援にあたっていることを思うと、嬉しく思います。さらには、その人たちを通して若い世代が育っていくことも嬉しく思います。今回も、志のある教職の先生に、講演のスライド資料などをお渡しいたしました。私の代わりにこのテーマを伝える伝道師としての活動を祈っております。

診療実績

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年1-11月	12月	2013年	総計
訪問回数	0	1647	2900	2872	3515	4907	5299	4795	486	5281	26421
自宅永眠	15	73	128	151	190	203	163	151	13	164	1087
施設永眠	0	7	7	8	14	9	23	24	4	28	96
在宅(自宅+施設)	15	80	135	159	204	212	186	175	17	192	1183
病院永眠	5	22	24	40	34	61	63	34	4	38	287